

博士前期課程「修士論文中間報告会」の紹介

保健医療学研究科 臨床検査学専攻長 行正信康

保健医療学研究科では、「倫理に関する審査委員会の審査を終えた研究計画書に基づいて実施する研究内容の妥当性及び進捗状況を報告し、質の高い修士論文作成への一助とする」という目的で、毎年5月に修士論文中間報告会を実施している。令和3年度は、5月19日に井伊学長の挨拶のあと、博士前期課程2年次生による報告会を開催した。活発な質疑応答や適切なアドバイスがなされ、本活動の目的において大変有意義な報告会になった。

令和3年度
香川県立保健医療学大学保健医療学研究科
臨床検査学専攻 修士論文中間報告会
日時 令和3年5月19日(水) 9:10~11:00
場所 香川県立保健医療大学 講義棟202室

開会 9:10~
学長あいさつ

9:15~9:35
1. 成体マウスの海馬歯状回における神経新生へのFOXO1関与の検討
足立 裕美
(古山 達雄)

9:35~9:55
2. 脳浮腫におけるmicroRNAの役割
石川 舞
(行正 信康)

9:55 ~10:05 <<休憩 10分>>

10:05~10:25
3. 敗血症に伴う免疫麻痺の分子メカニズムの解明
沖藤 水咲
(行正 信康)

10:25~10:45
4. 緑膿菌の上皮細胞層透過機構の分子生物学的解析
七條 唯人
(奥田 潤)

10:45~
研究科長 講評
閉会

